

過保護・過干渉にならないために

親が手をかけるところと 見守るところ

親は心配が先に立ち、つい、手出し、口出しが多くなりがちです。
良い距離感で子育てができると、自立を促し、自己肯定感を高めることができます。
子どもの成長に合わせた親の関わり方のヒントを、講師が分かりやすくお話します。

こんな時、どうしたらよいかしらと、
悩むことはありませんか？

- ☐宿題や、ランドセルの片付け、
翌日の準備をしない
- ☐遊びや習い事が長続きしない
- ☐兄弟喧嘩の時
- ☐食事中におしゃべりしたり、
立ち歩いて落ち着いて食べられない
- ☐出来る事も親にやってという



思い当たる方は、
ぜひご参加ください。

- ☐注意をすると逆ギレしたり
反抗する
- ☐登校渋り、不登校など
- ☐頭が痛い、お腹が痛いとかいう
- ☐友達に言い返せない
- ☐朝の支度ができない、遅い
- ☐泣くだけで気持ちを伝えない

2025年

7月8日(火)

お申込みフォーム➡



10:00～11:30 (受付開始 9:40～)

おだわら市民交流センター UMECO (1階・会議室6)

JR東海道線「小田原」駅下車、徒歩2分

講師：公益社団法人

スコーレ家庭教育振興協会講師

寺嶋 妙子

受講対象：乳幼児期～思春期を迎えるお子さんの保護者

受講定員：10人 (申込み順／要・予約)

受講料：500円

問合せ先：宇佐美 TEL 090-4247-6256

細野 TEL 090-2740-4165

メール syonan@schole.org

主催：



公益社団法人

スコーレ家庭教育振興協会

<https://schole.org/>

小田原地区実行委員会

※受講後の無料個別相談をご希望の方は、備考欄に、ご記入ください。

※保育はございません。お困りの方はご相談ください。

—スコーレ協会は生涯学習活動を全国的に展開している、内閣総理大臣が認定した公益法人です—